

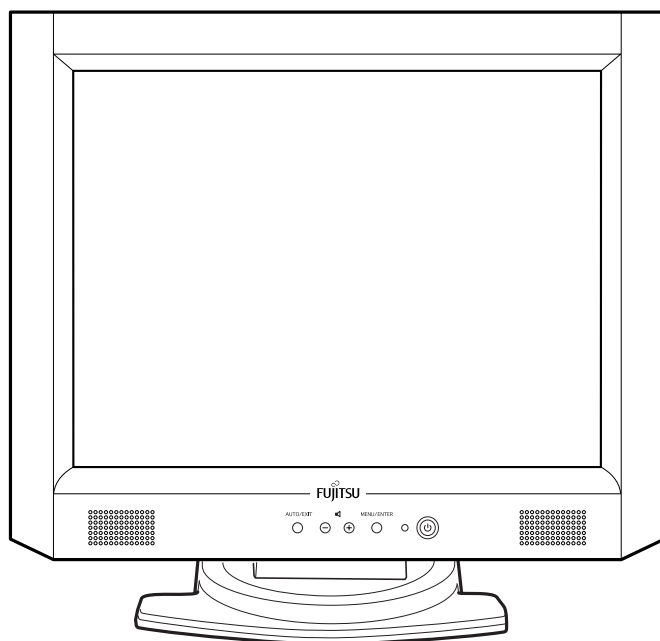
FMV

B5FY-3691-01 Z0

カラー液晶ディスプレイ15

VL-152SS

オンラインマニュアル



いつも地球を見守っている

FUJITSU FM SERIES PERSONAL COMPUTER

FUJITSU



はじめに

このたびは、弊社のカラー液晶ディスプレイ-15（VL-152SS）（以降、本製品と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2003年4月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、ご理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

製品の呼びかたについて

本文中では、製品名称を以下のように略して表記しています。

- ・ Microsoft® Windows® Millennium Edition → Windows Me
- ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional → Windows 2000
- ・ Microsoft® Windows® XP Professional → Windows XP
- ・ Microsoft® Windows® XP Home Edition → Windows XP

保証書について

保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。

- ・ 修理を依頼するときには、必ず保証書をご用意ください。
- ・ 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・ 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。（詳しくは、保証書をご覧ください。）
- ・ 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年間です。
- ・ 保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003

画面の使用に際して Microsoft Corporation の許諾を得ています。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

●VCCI適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

●国際エネルギースタープログラムについて



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

●本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●PCグリーンラベルについて



本製品はJEITA『PCグリーンラベル制度』の審査基準（2002年度版）を満たしています。
詳細は、WEB サイト <http://www.jeita.or.jp/> をご覧ください。

●○ 安全にお使いいただくための絵記号について

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

 警告	 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

●○ 本文中の記号について

重要! : お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。

用語 : 専門用語を簡単に説明しています。

アドバイス : 操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。

 : 本書の中の参照ページ先を記述しています。

●○ 警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。
警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

安全上のご注意



万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異物（水・金属片・液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

近くで雷が起きたときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。



ディスプレイに何も表示されないなどの故障状態で使用しないでください。故障の修理は「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご依頼ください。

そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。

機器の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器、金属物を置かないでください。

火災・感電の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

火災・感電の原因となります。

風呂場、シャワー室などの水のかかりやすい場所で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。

火災・感電の原因となります。



警告



添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

機器本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

機器本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。

内部の点検、修理は「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご依頼ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



電源プラグの刃、および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。



取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子様が誤って飲むことがないよう、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。



機器を勝手に分解したり、改造したりしないでください。

火災・感電の原因となります。



注意



機器の開口部（通風孔など）をふさがないでください。周囲から10cm以上離してください。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内、暖房器の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によってカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、機器内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

使用中の機器は布でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。



機器の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。

機器を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電、火災の原因となったり、機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

長時間、機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

健康のため、1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。

安定したところに据え付けてください。

転倒して、けがの原因となることがあります。

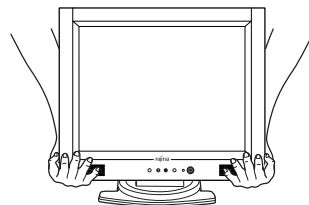
液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。

また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

使用上のご注意

- 液晶ディスプレイは次の特性を持っていますが、故障ではありません。
 - ・ 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、スクリーンセーバの使用をおすすめします。
 - ・ 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがあります。
 - ・ 周囲環境（温度）によって、表示状態が影響を受けることがあります。
 - ・ 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、一部に常時点灯、消灯するドットが存在する場合があります。
- 本製品には、有寿命部品（LCD等）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。
- 液晶ディスプレイの取り扱いについて
 - ・ 衝撃を与えたり、強い力で押しったりしないでください。故障の原因となることがあります。
 - ・ ひっかいたり、先のとがったもので押しったりしないでください。画面に傷がつく原因になります。
- 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- 持ち運びの際は画面やスタンド部を持たないで、右図のように画面下部を両手で持ってください。



- 本製品を窓際へ設置する場合は、液晶パネルに直接太陽光が当たらないようにしてください。液晶パネルを傷める場合があります。
- テレビやラジオ、衛星放送チューナなどのそばに設置しますと、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- 画面をアルコールの成分を含んだ市販のクリーナーなどで絶対に拭かないでください。
■■■▶ 「日常のお手入れ」(P.22)
- 本製品の近くで、携帯電話やPHSを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- 本製品は電源を切ってもUSB機器用の待機電流が流れます。長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ディスプレイケーブル、電源コード、オーディオケーブル、USB ケーブルを引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

- 本製品を安定した状態でご使用になれる期間（耐用期間）は5年※が目安です。

※ 1日8時間で月当たり200時間動作、使用環境温度が25℃を想定した数値です。
ただし、有寿命部品を除きます。



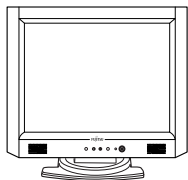
目次

はじめに	i
安全にお使いいただくために	i
製品の呼びかたについて	i
保証書について	i
安全にお使いいただくための絵記号について	iii
本文中の記号について	iii
警告ラベル／注意ラベル	iii
安全上のご注意	iv
使用上のご注意	viii
製品を確認してください	1
本製品の特長	2
各部の名称と機能	3
液晶ディスプレイの接続	5
接続の前に	5
USB ハブの接続について	5
ケーブルを接続する	6
ドライバ (INF ファイル) のインストールについて	7
最新の INF ファイルをダウンロードする	7
ドライバをインストールする	7
USB ハブの使用	8
液晶ディスプレイのセットアップ	9
AUTO セットアップアクション機能について	9
細かい設定を行う	10
ボタン／ダイヤルの機能	10
調整項目の内容	11
その他の項目	12
盗難防止について	13
こんなときは	14
キーボードが認識されない	14
画面が表示されない	14
画面がおかしい	15
画面調整ができない	16
音が聞こえない／変な音が聞こえる	17
USB 機器が動かない	18
スタンバイ(省電力)機能について	21
ACPI について	21

日常のお手入れ	22
清掃する	22
環境への配慮のお知らせ	23
仕様	24
本体仕様	24
標準表示仕様	25
コネクタ仕様	26
D-SUB 信号入力コネクタ（15 ピンミニ D-SUB コネクタ）	26

製品を確認してください

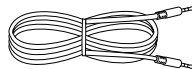
梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあつた場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。



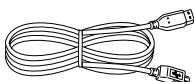
カラー液晶ディスプレイ本体



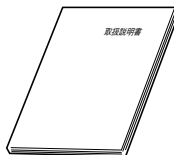
コンセント変換コネクタ



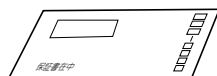
オーディオケーブル



USB ケーブル
(PC 接続用)



取扱説明書



保証書

本製品の特長

1 sRGB 対応

ディスプレイとプリンタ／スキャナ／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である sRGB での表示が可能です。

用語 「sRGB」とは

ディスプレイ／スキャナ／デジタルカメラなど周辺機器同士の色再現性やプリンタで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。

2 親切な自動調整機能

初めて入力された解像度(モード)でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度(モード)を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。もし、自動調整をやり直したいときでも、ボタン1つで行うことができます。

3 15 型の大画面

17 型 CRT ディスプレイに相当する大画面です。
1024 × 768 ドットの解像度で最適に表示されます。

用語 「USB」とは

「Universal Serial Bus」の略で、パソコンと周辺機器を接続するためのインタフェース規格です。パソコンの電源を入れたまま接続できる、多数の周辺機器を同時に接続できるなどの利点があります。

4 USB ハブ内蔵

アップストリームポートを 1 ポート、ダウンストリームポートを 2 ポート内蔵していますので、USB に対応したパソコン周辺機器を簡単に接続できます。

5 スピーカー内蔵

スピーカーを表示部に内蔵。立体感のあるサウンドと高画質な映像でマルチメディア環境を実現します。

6 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。

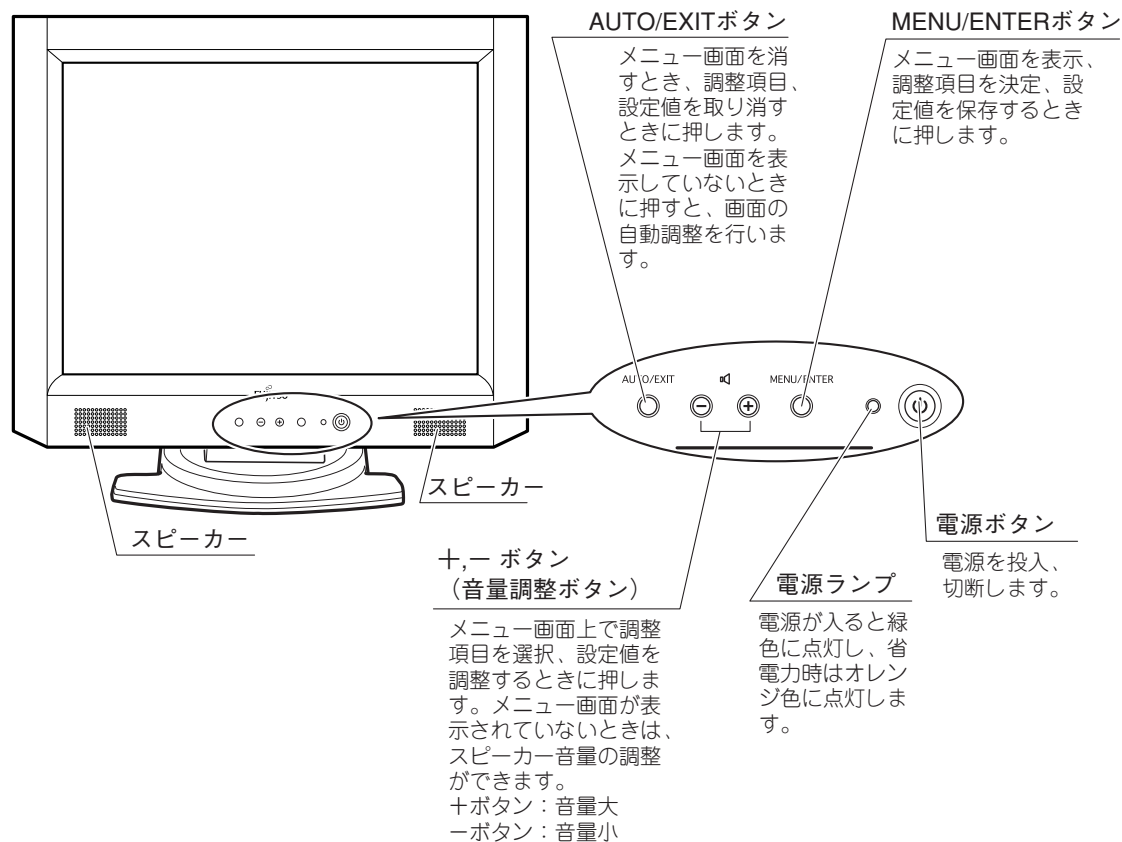


いつも地球を見守っている

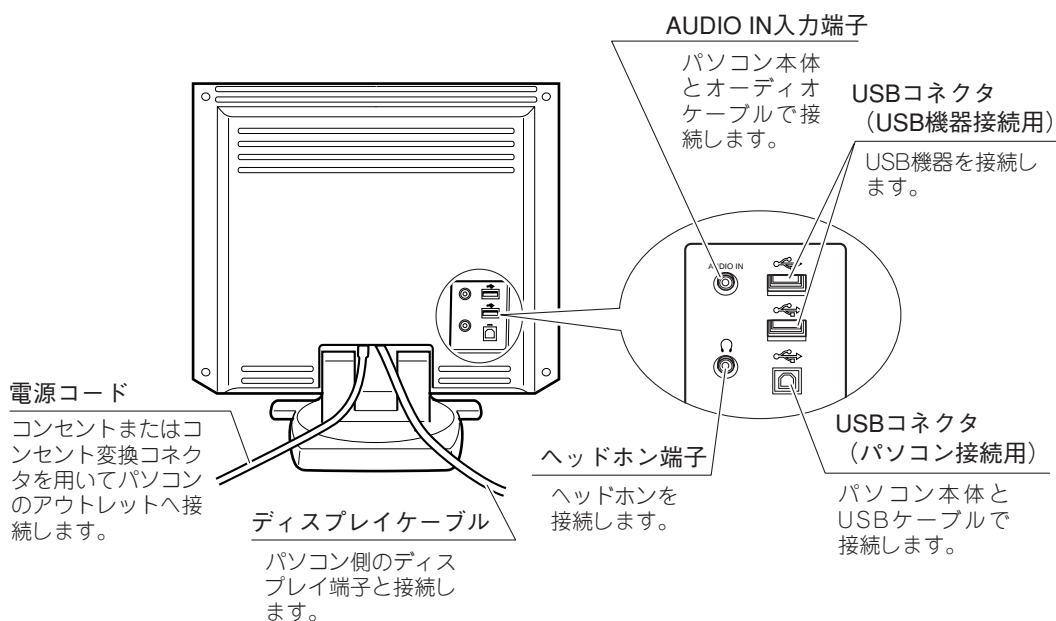
このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。

各部の名称と機能

〔前面〕



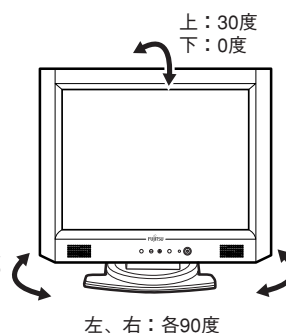
〔背面〕



ディスプレイの上下・左右の角度を調節するときは、ディスプレイの両端をつかみ、好みの角度に調節してください。

⚠ 注意

ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむ恐れがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。



液晶ディスプレイの接続



接続の前に

- ・全ての接続が終了するまで、本製品とパソコン本体の電源は入れないでください。
- ・本製品の電源コードをコンセントに接続する場合、本製品の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れてください。
- ・従来から使用しているディスプレイから本製品に変更する場合は、パソコン本体の解像度(モード)を低解像度モード(640×480 60HzなどのVGAモード)に切り替えてから、本製品を接続してください。
- ・本製品の仕様と、パソコン本体の仕様を確認の上、接続してください。

■■■▶ 「標準表示仕様」(P.25)

アドバイス

パソコン本体の取扱説明書の記述もご覧ください。



USB ハブの接続について

- ・本製品のUSB ハブを初めてお使いになる場合、まず、パソコンとUSB ハブだけを接続して、他のUSB 機器とは接続しないでください。パソコンがUSB ハブを認識するまで、USB 機器を接続することはできません。
- ・本製品のUSB ハブに初めてUSB キーボードおよびマウスを接続する場合、パソコン本体にはPS/2タイプのキーボードおよびマウスが接続されている必要があります。
- ・USB ハブの接続は、本製品とパソコンの電源を入れたままで行えます。
- ・パソコン本体がUSB ハブおよびUSB 機器を認識するまでに数秒～数10秒が必要です。認識されるまでの間、コネクタの抜き差しは行わないでください。
- ・パソコン本体との接続には、本製品に添付されているUSB ケーブルを使用してください。他のUSB ケーブルを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- ・パソコン本体のOS やBIOS の設定状態によっては、USB ハブが動作しないなどの制限事項があります。この場合は接続するパソコン本体の取扱説明書をご覧ください。
- ・USB 機器を接続している場合、接続しているUSB 機器の種類によってはWindows を正常に終了できないことがあります。この場合は、USB 機器を取り外してからWindows を終了してください。
- ・接続するUSB 機器によっては、専用のドライバのインストールが必要となる場合があります。この場合はUSB 機器の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

USB 機器を使用しない場合はUSB ケーブルを接続する必要はありません。

アドバイス

パソコンにUSBポートが複数ある場合、どのポートにも接続できます。パソコンの電源が入ったままでも本製品を接続できます。

アドバイス

各USBコネクタ(USB機器接続用)にUSB機器を接続できますが、1ポートあたりの供給可能電流は500mAです。

- ・USB インタフェースは市販されているUSB 機器の全ての動作を保証するものではありません。USB ハブに接続してご使用になる際に、正しく動作しない場合は、パソコン本体のUSB コネクタにUSB 機器を直接接続してご使用ください。
- ・コネクタを奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。

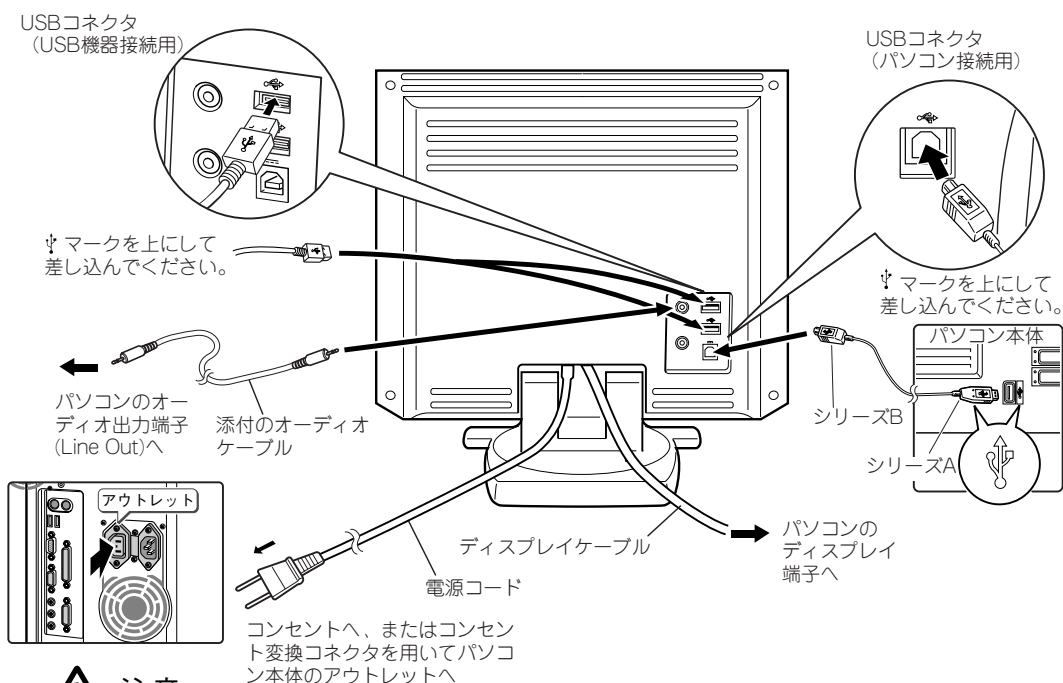
ケーブルを接続する

1 ケーブルを接続します。

電源コードの接続は、パソコン本体にアウトレットがある場合は、本製品に添付のコンセント変換コネクタを使って、パソコン本体へ接続してください。

この場合、本製品の電源はパソコン本体の電源と連動して入ります。そのため、接続後に一度電源を入れると、以後はパソコンの起動に合わせて自動的に電源が入ります。パソコンを起動するたびに電源を入れる必要はありません。

初めて電源を入れるときは、パソコン本体の電源を入れてから、本製品の電源を入れてください。



注意

本製品は、コンセントまたはパソコン本体のアウトレットの近くに設置し、異常が発生したときに、すぐに対応できるようにしてください。万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、その後電源コードをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。

ドライバ (INF ファイル) のインストールについて

最適な画面表示を行う上で、パソコン本体に接続後、最初の電源投入時に本製品のドライバ (INF ファイル) のインストールを要求されることがあります。この場合、一度ドライバのインストールをキャンセルして終了します (モニタはプラグ アンド プレイ モニタとして認識されます)。

その後、インターネットの『FMWORLD.NET』からドライバ (INF ファイル) をダウンロードしてパソコンにインストールしてください。

FMWORLD.NET <http://www.fmworld.net/>

アドバイス

パソコン本体に、本製品のドライバ (INF ファイル) がインストールされている場合は要求されません。

最新の INF ファイルをダウンロードする

- (1) FMWORLD.NET にアクセスし、「サポート & サービス」の「ダウンロード」をクリックします。
- (2) 「ダウンロード検索」をクリックします。
- (3) 「プリンタ・周辺機器」の「周辺機器」をクリックします。
- (4) 以下を選択および入力し、「検索開始」ボタンをクリックします。

シリーズ	: シリーズ選択無し
OS	: お使いの OS
周辺機器ドライバ名称	: INF

(部分一致可)
- (5) 検索結果の一覧から、最新の「FMV ディスプレイ装置 INF ファイル」をクリックします。

以降のダウンロード手順については、画面の指示に従ってください。

ドライバをインストールする

ダウンロードしたファイルをご覧になり、ドライバをインストールしてください。



USB ハブの使用

USB 機器を接続する前にUSB ハブが認識されているか確認してください。

デバイスマネージャ上でUSB ハブが認識されているか確認することができます。USB ハブが認識されてから、USB 機器を接続してください。

■▶ 「デバイスマネージャ上での確認方法」

- ・ Windows Me/Windows 2000 での確認方法(P.19)
- ・ Windows XP での確認方法(P.20)

液晶ディスプレイのセットアップ



AUTO セットアップアクション機能について

本製品に入力される解像度（モード）が今までに入力されたことのない解像度（モード）の場合に、自動的に判別し、最適な表示を得られるように自動的に調整します。

重要!

- AUTO セットアップアクションは本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します。
- 一度調整された解像度（モード）は設定値が本製品に記憶されるのでその後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- DOS画面のような黒っぽい表示では動作しない場合があります。その場合は画面全体を白っぽい表示にしてから AUTO/EXIT ボタンで自動調整を行ってください。(■■■■▶ P.10)

細かい設定を行う

本製品はAUTOセットアップアクション機能で自動調整できます。また、画面下部にある AUTO/EXIT ボタンを押すことでも自動調整できます。さらに微調整したい場合のみ、メニュー画面での調整を行ってください。画面下部にある MENU/ENTER ボタンを押して表示されるメニュー画面の中から、個別に選択して調整することができます。ボタン類の操作は、以下のようになります。

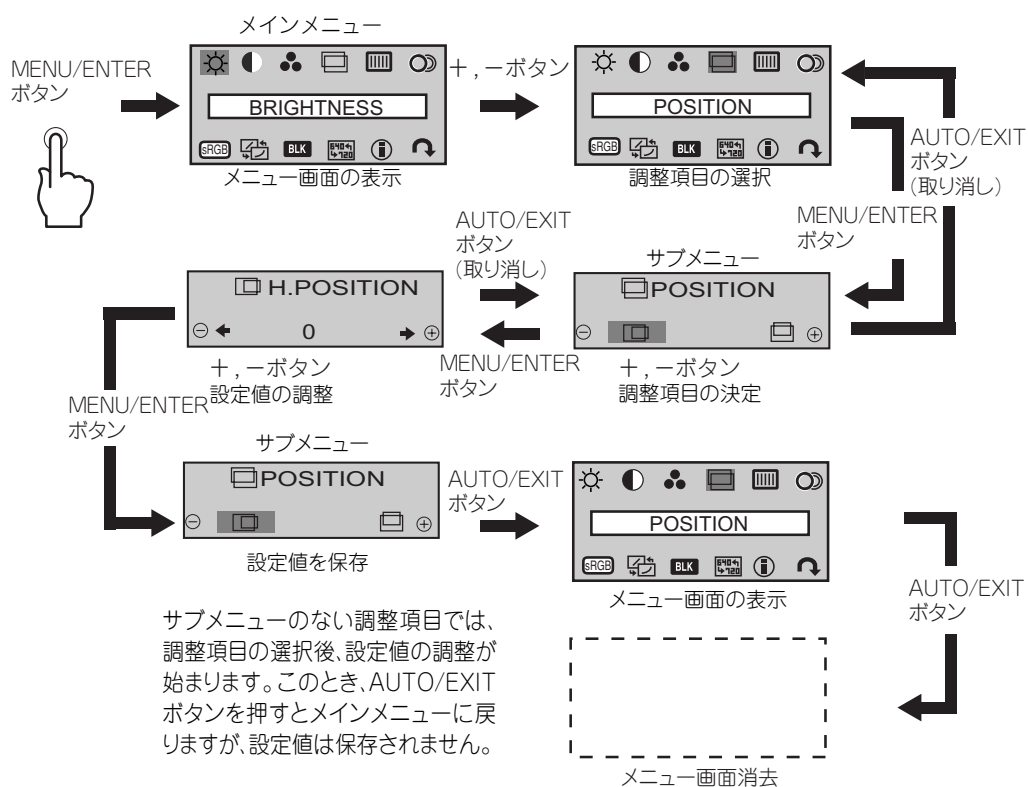
ボタン／ダイヤルの機能

MENU/ENTER ・メニュー画面の表示
・調整項目の決定
・設定値の保存

+, - ・調整項目の選択
・設定値の調整
・スピーカー音量調整

AUTO/EXIT ・メニュー画面の消去
・調整項目の取り消し
・設定値の取り消し
・自動調整

調整例)





調整項目の内容

アイコン	表 示	名 称	機 能
	BRIGHTNESS	ブライトネス	画面全体の明るさを調整します。
	CONTRAST	コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。
	COLOR	カラー調整	画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤／緑／青の色合いを個別に設定できます。
	POSITION	画面位置	表示位置を上下左右に調整します。
	CLOCK	クロック	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。
	FOCUS	フォーカス	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
	BLACK LEVEL	黒レベル	黒色のレベルを任意に設定できます。
	RECALL	リコール	ご購入時の設定値に戻します。 ・READJUSTING 全項目に戻します。 ・GEOMETRY 表示している解像度（モード）の画面位置、クロック、およびフォーカスを戻します。 ・COLOR ブライトネス、コントラスト、黒レベル、およびカラー調整を戻します。

スピーカーの音量はメニュー画面を表示せずに、＋，－ボタンより直接調整できます。

アイコン	表 示	名 称	機 能
	VOLUME	スピーカー音量	スピーカー音量を調節します。

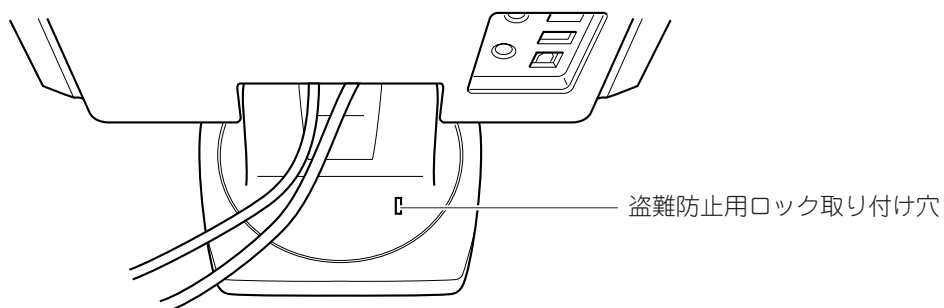
その他の項目

メニュー画面の中には、前述の調整項目の他に以下のような機能のメニューがあります。

アイコン	表 示	名 称	機 能
	sRGB	sRGB	sRGB の ON/OFF の切り替えができます。
	PICTURE MODE	ピクチャー モード	画面の明暗のバランスを2種類から選べます。 PC：通常のパソコン画面に適しています。 VIDEO：動画に適したメリハリのある画像にします。
	TEXT MODE	テキストモード	DOS 画面表示時の解像度を設定できます。 英語 DOS 時は、720 × 400 を選択してください。
	INFORMATION	インフォメーション	現在表示されている解像度、垂直同期周波数および各種調整項目（一部を除く）の設定値を表示します。

盗難防止について

本製品のスタンド部後面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。
市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。



アドバイス

盗難防止用ロック取り付け穴は、Kensington 社製のマイクロ
サーバーセキュリティシステムに対応しています。

商品名 : SLIM MICROSAVER

商品番号 : 0522011

(富士通コワーコ株式会社取り扱い品 お問い合わせ : 03-3342-5375)

こんなときは

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご相談ください。

- * 「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」: 0120-950-222 (フリーダイヤル)
- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
 - ダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

? キーボードが認識されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
Windowsのセットアップ途中でキーボード、マウスが認識されない。	●USBハブ経由でUSBキーボード、マウスを使用している。	→ ●パソコン本体にPS/2タイプのキーボードおよびマウスを接続、またはパソコン本体のUSBコネクタにUSBキーボードおよびマウスを直接接続してください。	パソコン本体の取扱説明書
BIOSでキーボード、マウスが認識されない	→ ●BIOSの設定でUSB Controller が設定されていない。	→ ●設定をEnabledにしてください。	パソコン本体の取扱説明書

? 画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している。	→ ●電源コードが正しく接続されていない。または奥まで確実に接続されていない。	→ ●電源コードを正しく奥まで確実に接続してください。	6
	→ ●電源が入っていない。	→ ●電源を入れてください。	3
電源ランプが消灯し、キーボードやマウスが反応しない。	→ ●パソコン本体の省電力機能の設定が高度 (ACPI S3) になっている。	→ ●パソコン本体の省電力機能の設定を確認してください。	パソコン本体の取扱説明書
電源ランプがオレンジ色に点灯している。	→ ●パソコンがスタンバイ状態になっている。	→ ●キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。スタンバイ状態が解除されます。	21
MENU/ENTER ボタンを押すと「POWER SAVING」のメッセージが表示される。	→ ●ディスプレイケーブルがパソコン本体に、正しく接続されていない。	→ ●パソコン本体にディスプレイケーブルを正しく接続してください。	6

症 状	考えられる原因	対処方法	参照 ページ
電源ランプが点灯するが、画面が表示されない。 場合によっては以下のメッセージも表示される。 「OUT OF RANGE H:***kHz V:***Hz SEE USER'S MANUAL」 「NO SYNC SIGNAL SEE USER'S MANUAL」	●標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。 ●パソコン本体より後に本製品の電源を入れた。 ●ディスプレイケーブルが、パソコン本体に正しく接続されていない。	●パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。 ●パソコン本体と同時またはそれ以前に本製品の電源を入れてください。 ●パソコン本体にディスプレイケーブルを正しく接続してください。	25 および パソコン 本体の取 扱説明書 — 6

? 画面がおかしい

症 状	考えられる原因	対処方法	参照 ページ
格子状の表示画面がちらつく。	●フォーカスが合っていない。	●フォーカスを調整してください。	11
縦帯状の縞模様が見えることがある。	●画面の調整が適切でない。	●クロックの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	11
水平方向に表示がはみ出る。	●画面位置の調整が適切でない。	●クロックの調整を行ったあとに画面位置の調整を行ってください。	11
画面いっぱいに表示されない。	●標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	●パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	25 および パソコン 本体の取 扱説明書
画面が消えることがある。	●電源コードが奥まで確実に接続されていない。	●電源コードを奥まで確実に接続してください。	6
表示画面にムラがある。(もやもやしている。)	●液晶パネルの表面を押した。	●本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	3

症 状	考えられる原因	対処方法	参照 ページ
文字の太さが場所によって異なる。	●フォーカス、クロックの調整が適切でない。 ●1024×768よりも低い解像度（モード）になっている。	●クロックの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。 ●デジタル処理で擬似的に拡大処理しているので文字の太さが異なる場合があります。最適な画面にするには「画面のプロパティ」で解像度を1024×768に設定してください。	11 25 および パソコン 本体の取 扱説明書
電源投入直後やWindowsの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある。	●パソコンからの信号が連続的に切り替わるためにおこる。	●故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

? 画面調整ができない

症 状	考えられる原因	対処方法	参照 ページ
AUTO/EXITボタンによる自動調整ができず、以下のメッセージが表示される。 「AUTO ADJUSTMENT FAILED SEE USER'S MANUAL」	●画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。	●表示画面全体をできるだけ白画面にして、もう一度AUTO/EXITボタンを押して自動調整を行ってください。	10,16
「UNSUPPORTED MODE SEE USER'S MANUAL」	●標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	●メニュー画面のインフォメーションにより、現在表示されている解像度(モード)が確認できますので、パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	12,25 および パソコン 本体の取 扱説明書

アドバイス 表示画面を白画面にするには・・・

- (1) 「画面のプロパティ」で「デザイン」タブをクリックします。(Windows XPの場合は「デザイン」タブの「詳細設定」ボタンをクリックしてください。)
- (2) 「指定する部分」の「▼」ボタンをクリックして「デスクトップ」を選択します。
- (3) 「色」の「▼」ボタンをクリックして白色を選択してください。

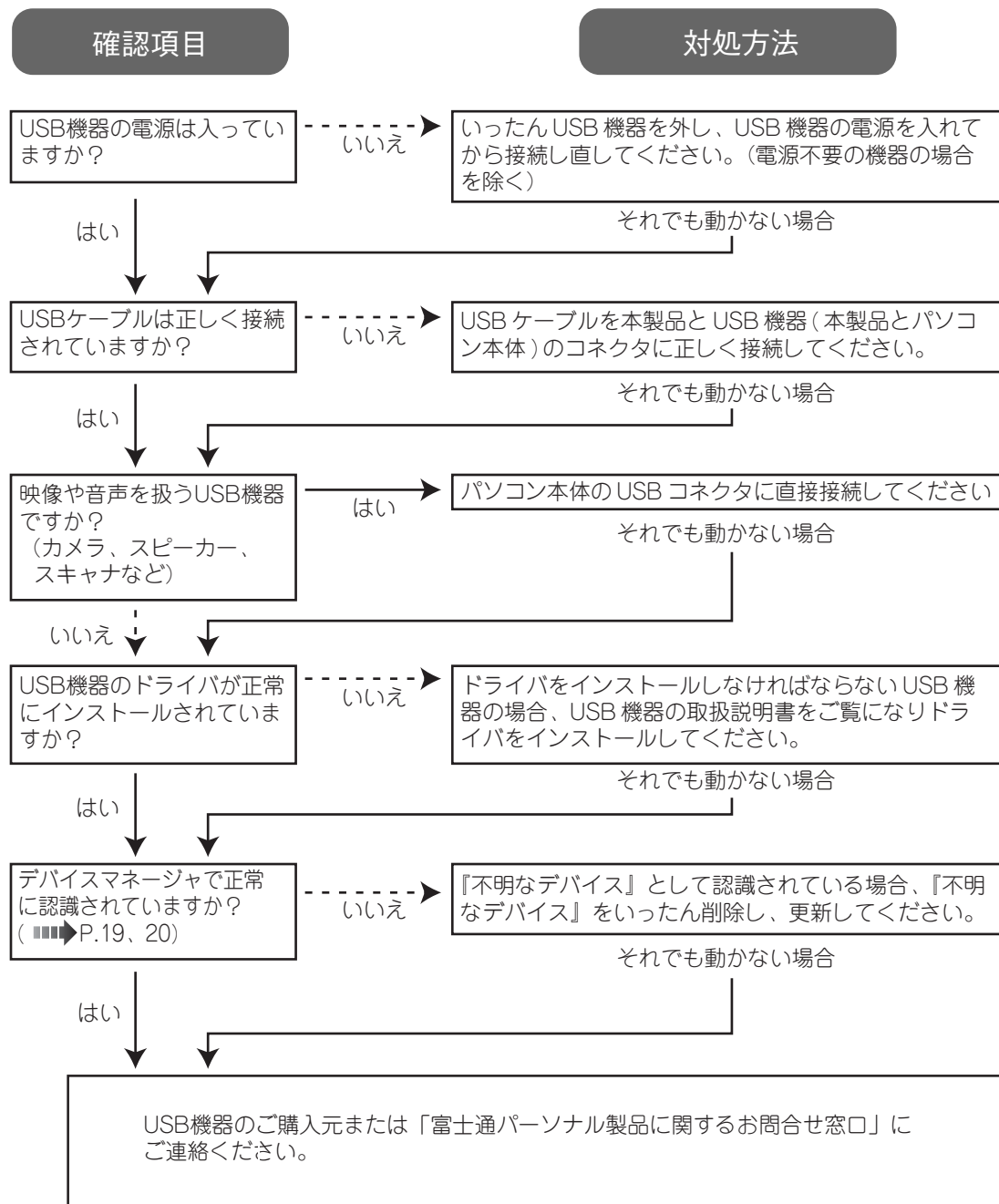
壁紙や模様が設定してあるときは、「背景」タブで「壁紙」および「模様」を「なし」に設定してください。

? 音が聞こえない / 変な音が聞こえる

症 状	考えられる原因	対処方法	参照 ページ
スピーカーから音が聞こえない。	●本製品のスピーカー音量 またはパソコン本体の音 量設定が最小となっている。	●適切な音量に調整してくださ い。	3,11 および パソコン 本体の取 扱説明書
	●パソコン本体の音量の設 定がミュートになっている。 (画面の音量つまみの ミュートが ☒ になってい て、タスクバーに  と表 示されている)	●パソコン本体のミュートの 設定を解除してください。 (画面の音量つまみのミュート の ☒ をクリックして、 ☐ にし てください。)	パソコン 本体の取 扱説明書
	●オーディオケーブルが正 しく接続されていない。	●オーディオケーブルが適切な 場所に接続され、しっかりと 奥まで差し込まれていること を確認してください。	6
スピーカーからブツ ブツという雑音が聞 こえる。	●本製品の近くで携帯電話、 PHS などの電波を発生す る装置を使用している。	●故障ではありません。携帯電 話、PHS を本製品から離して お使いになるか、使用をおや めください。	-

? USB 機器が動かない

以下のチャートに従って原因を確認し、対処してください。



アドバイス

デバイスマネージャ上での確認方法

(Windows Me/Windows 2000 での確認方法)

- (1) 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」の「コントロールパネル」をクリックします。
- (2) 「システム」をクリックして「システムのプロパティ」を表示し、デバイスマネージャを表示します。

Windows Me のときは「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows 2000のときは「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

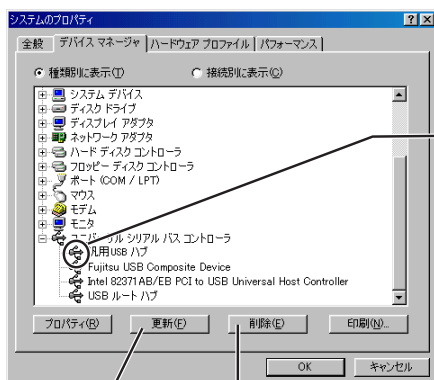
- (3) デバイスマネージャに表示される汎用USBハブのアイコンを確認します。

Windows Me のときは「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下に表示されます。

Windows 2000 のときは「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下に表示されます。

!または×がついていなければ正常認識されています。

Windows Me



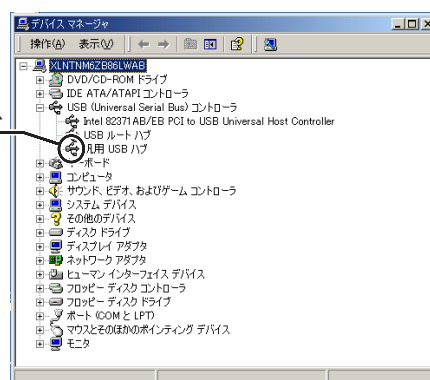
〔削除〕ボタン

削除する場合にクリックします。

〔更新〕ボタン

更新する場合にクリックします。

Windows2000



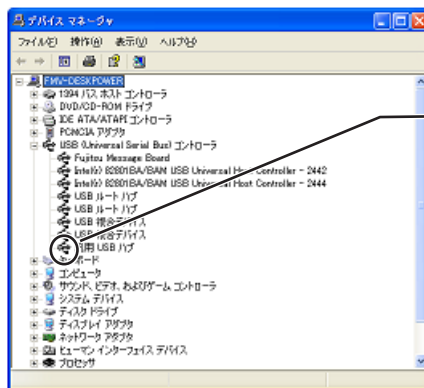
(デバイスマネージャの表示は環境によって異なります。)

アドバイス

デバイスマネージャ上での確認方法 (Windows XPでの確認方法)

- (1) 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」の「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
- (2) 「システム」をクリックして「システムのプロパティ」を表示します。
- (3) 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」ボタンをクリックし、デバイスマネージャを表示します。
- (4) デバイスマネージャの「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下に表示される汎用USBハブのアイコンを確認します。
!または×がついていなければ正常認識されています。

WindowsXP



汎用USBハブの
アイコン

!または×がついていないかを確認します。

(デバイスマネージャの表示は環境によって異なります。)

アドバイス

USB機器が不明なデバイスとして認識されている、またはUSB機器が認識できない場合の対処方法

下記手順に従って接続し直してください。

※ USB 機器の電源が入っていることを、必ず確認してください。

- (1) すべてのアプリケーションを終了します。
- (2) 本製品とUSB機器間のUSBケーブルを抜きます。
- (3) 本製品とパソコン間のUSBケーブルを一度抜き、もう一度接続します。
- (4) 本製品とUSB機器間をUSBケーブルで接続します。

スタンバイ(省電力)機能について

本製品はパソコンのスタンバイ機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画面の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

画面の表示を中断している状態をスタンバイといい、このとき本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯しています。スタンバイから元の状態に戻すには、キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かします。

本製品は、パソコン本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかのスタンバイ状態に移行します。(スタンバイ機能については、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。)

		最大消費時	通常動作時	省電力動作時			電源ボタン「オフ」時
消費電力		32W	21W	2.1W	2.1W	2.1W	1.8W
入力信号	映像	あり	あり	なし	なし	なし	—
	水平同期信号	あり	あり	なし	あり	なし	—
	垂直同期信号	あり	あり	あり	なし	なし	—
動作	画面表示	表示あり	表示あり	表示なし	表示なし	表示なし	表示なし
	電源ランプ	緑	緑	オレンジ	オレンジ	オレンジ	消灯

※「最大消費時」とはスピーカーの出力を最大にし、USB ハブのダウンストリームポートを2つとも使用して、各ポート当たり500mAの電力を使用した場合です。

アドバイス

電源「オフ」状態のエネルギー消費は、本製品の電源プラグをコンセントから抜くことにより、避けることができます。

ACPIについて

ACPIの設定が高度(ACPI S3,S4)に設定されている場合、省電力動作時には、パソコン本体のアウトレットから電力が供給されなくなります。このため、本製品の電源コードをパソコン本体のアウトレットに接続している場合、本製品の電源は入りません。

また、本製品のUSB ハブも機能しなくなりますので十分ご注意ください。

詳細については、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

用語 「ACPI」とは

「Advanced Configuration and Power Interface」の略で、外部に接続した周辺機器の電力管理までOSで制御する電力管理の規格です。

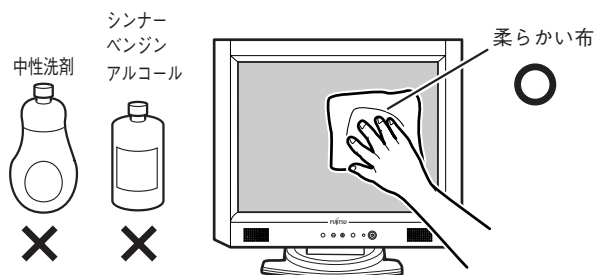
日常のお手入れ

清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。

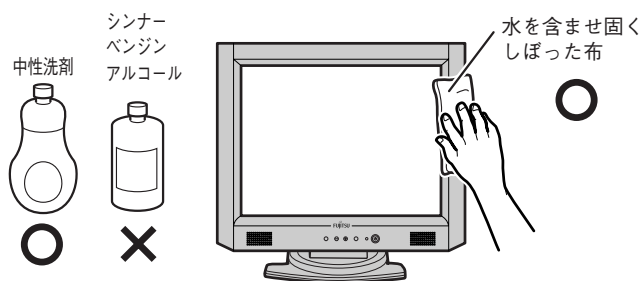
●画面

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



●カバー

水または中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように十分注意してください。



重要!

市販クリーナーは、以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。

- ・アルカリ性成分を含んだもの
- ・界面活性剤を含んだもの
- ・アルコール成分を含んだもの
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
- ・研磨材を含んだもの
- ・化学ぞうきん
など



環境への配慮のお知らせ

本製品は通商産業省の設置する産業構造審議会 廃棄物処理・再資源化部会の作成した、「再生資源の利用の促進等に資するための製品設計における事前評価マニュアル作成ガイドライン」（平成6年7月）に準拠して、機器のリサイクルに適した設計を行なっています。

本製品の所有者が事業主の場合には、本製品を廃棄する際にマニフェスト伝票（廃棄物管理票）の発行が義務付けられております。弊社では、富士通りサイクルシステムを構築し全国的に運用しておりますので、廃棄の際には下記にお問合せ願います。

お問合せ／お申し込み先：富士通りサイクルシステム

（<http://eco.fujitsu.com/recycle/>）

なお、法人・企業以外のお客様は、お申し込みできません。

本製品の構成部材（プリント板、シャーシ、液晶パネル）には、微量の重金属（鉛、クロム）や化学物質（アンチモン）が使用されています。使用済み製品を廃棄される場合は、上記のようにリサイクルにご協力ください。

なお、本製品の所有者が個人の場合にはマニフェスト伝票の発行義務はありません。

液晶ディスプレイ内の蛍光管の中には水銀が含まれています。

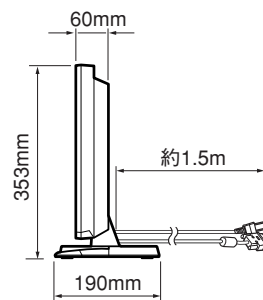
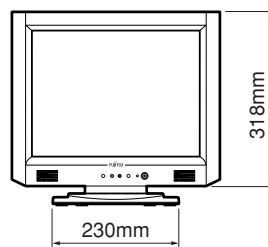
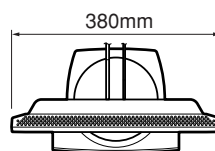
廃棄方法につきましては、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

仕様



本体仕様

項目	仕様
対応機種	FMV シリーズ、AT 互換機
入出力 I/F	映像信号 アナログ RGB(ミニD-Sub15ピン) 0.7Vp-p(正極性)、75 Ω インピーダンス
	同期信号 セパレート方式:TTL レベル(正/負極性)
	AUDIO IN 0.7Vrms(typ), 12.7k Ω インピーダンス
	ヘッドホンジャック 0.185mW/ch 32 Ω インピーダンス
	DDC DDC1、DDC2B(VESA)
	USB USB Revision 1.1
表示部	解像度 1024×768ドット
	液晶パネル TFTカラー液晶
	表示色 1677 万色
	表示寸法 304.1mm(H)×228.1mm(V)
	画面サイズ 15.0型(対角38.0cm)
	画素ピッチ 0.297mm×0.297mm
機能	表示モード VGA :640×400/480 SVGA :800×600 XGA :1024×768 その他 :720×400
	チルト 下0°～上30°
	スイーベル 左右各90°
電源	入力 AC100V 50/60Hz
	消費電力 最大消費時 32W 通常動作時 21W 省電力動作時 2.1W 電源ボタン「オフ」時 1.8W
USB ハブ部	電源方式 セルフパワー電源
	供給可能電流 500mA(max)/1ポートあたり
	動作環境 Windows 2000 Windows Me、Windows XP
	ポートコネクタ アップストリーム :1ポート/シリーズB ダウンストリーム :2ポート/シリーズA
スピーカー	出力 1W/ch, 8 Ω インピーダンス
	周波数特性 450Hz～20kHz(0.5W/ch 出力時)
外形寸法	380mm(W)×190mm(D)×353mm(H)
質量	約3.9kg
使用環境	温度:5～35℃ 湿度:10～90%(RH)(結露しないこと)





標準表示仕様

本製品には、ご購入時に下表の12種類の解像度(モード)の調整値が登録されています。

(走査方式がインタレースの信号は対応していません。)

No.	解像度	水平周波数	垂直周波数	極性(H/V)	表示可能解像度(モード)
①	640×400	31.5kHz	70Hz	(-/ +)	○
②	640×480	31.5kHz	60Hz	(-/ -)	○
③	640×480	37.5kHz	75Hz	(-/ -)	○
④	640×480	37.9kHz	72Hz	(-/ -)	○
⑤	720×400	31.5kHz	70Hz	(-/ +)	○
⑥	800×600	35.2kHz	56Hz	(+/- / +, -)	○
⑦	800×600	37.9kHz	60Hz	(+ / +)	○
⑧	800×600	46.9kHz	75Hz	(+ / +)	○
⑨	800×600	48.1kHz	72Hz	(+ / +)	○
⑩	1024×768	48.4kHz	60Hz	(-/ -)	◎
⑪	1024×768	56.5kHz	70Hz	(-/ -)	○
⑫	1024×768	60.0kHz	75Hz	(+ / +)	○

※○:表示可能

◎:推奨解像度(モード)

重要!

- ・接続するパソコンの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、画面下部にあるAUTO/EXITボタン(■■■■▶ P.10)を押して画面の自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面の画面位置とフォーカスで調整してください。(■■■■▶ P.11)パソコン側での微調整は行わないでください。
- ・上表以外の解像度(モード)にパソコンを設定すると、正常な表示がされなくなる場合があります。
- ・1024×768以外の解像度(モード)も、すべてフルスクリーン表示となります。
- ・1024×768以外の解像度(モード)では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあります。これは、擬似的に拡大表示(フルスクリーン表示)しているためであり、故障ではありません。
- ・上表の解像度(モード)であっても、スキャンコンバータで表示されたNTSC信号については表示品位を保証するものではありません。
- ・640×400と720×400の解像度(モード)はメニュー画面から手動で切り替えてください。(■■■■▶ P.12)



コネクタ仕様



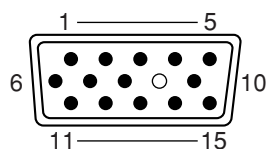
D-SUB 信号入力コネクタ（15 ピンミニ D-SUB コネクタ）

端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
①	R（映像）	⑥	アース	⑪	NC
②	G（映像）	⑦	アース	⑫	DDC DATA
③	B（映像）	⑧	アース	⑬	水平同期
④	NC	⑨	NC	⑭	垂直同期
⑤	アース	⑩	アース	⑮	DDC CLOCK

※ NC:未接続

端子配列図



FMV シリーズ
カラー液晶ディスプレイ -15(VL-152SS)
オンラインマニュアル
B5FY-3691-01 Z0-00

発行日 2003 年 4 月

発行責任 富士通株式会社

- 本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

FUJITSU